

古事類苑

人部三十

蝦夷

佐伯 撰

蝦夷ハ、エミシ、又エビスト云ヒ、後又エゾトモ云フ、東北ノ夷ニシテ、遠キモノヲ都ツカ加留ト云ヒ、次ヲ奄蝦夷ト云ヒ、近キモノヲ熟蝦夷ト云フ、並ニ勇悍強暴ニシテ射ヲ善クシ、好ミテ劫盜ヲ爲ス、趨捷飛禽ノ如シ、俗皆文身椎髻ニシテ、君長無ク、冬ハ入りテ穴ニ住シ、夏ハ出デ、櫟ニ居リ、常ニ鳥獸ヲ射テ食ト爲シ、其羽皮ヲ衣ル、初メ陸奥及ビ北越等ノ邊地ニ雜居ス、其陸奥ニ住スルモノヲ陸奥蝦夷、又ハ東蝦夷ト云ヒ、北越ニ住スルモノヲ越蝦夷、又ハ北蝦夷ト云フ、元明天皇和銅元年、越後國ニ新ニ出羽郡ヲ建テ、五年始テ出羽國ヲ置ク、是ヨリ越蝦夷ヲ出羽蝦夷ト稱セリ、

蝦夷ノ事ノ我史乘ニ見エタルハ、神武天皇ノ朝ヲ以テ始トス、崇神天皇十年、大彥命、武渟川別命ヲ東北ニ遣シテ、蝦夷ヲ治平セシム、景行天皇二十五年、武内宿禰ヲ遣シテ、東方國土風俗ヲ巡察セシム、尋デ四十年、東夷大ニ叛シテ邊境騷然タリシカバ、皇子日本武尊ヲ遣シテ征セシム、齊明天皇四年、阿倍比羅夫、舟師一百八十艘ヲ率キテ蝦夷ヲ追擊シ、渡島ニ渡リテ、後方羊蹄ヲ以テ政所ト爲ス、光仁天皇寶龜五年、蝦夷野心ヲ悛メズ、復タ邊境ニ侵入シ、良民ヲ殺略シタリシカバ、大伴駿河麻呂ヲシテ之ヲ征セシム、其後反亂征討相繼ギテ起リ、桓武天皇延暦二十年及ビ同二十三年ニハ征夷大將軍坂上田村麻呂ニ命ジ、征軍四萬ニ將トシ